

平成29年第7回  
産業建設常任委員会

# 所管事務調査報告

期 日：平成29年7月11日(火)  
午前9時30分～午前11時48分

調査内容：産業振興課所管事務調査

(1) 林道整備事業について

① 林道小畑線から北口線視察

② 概要説明

出席者：産業建設常任委員4人、傍聴者1人

説明者：産業振興課長、農地整備係長、  
農地整備係員

## 国見町議会

渡 辺 勝 弘 委員長	・ ・ ・ ・ ・	2
阿 部 泰 藏 委員	・ ・ ・ ・ ・	3
井 砂 善 栄 委員	・ ・ ・ ・ ・	4
村 上 一 委員	・ ・ ・ ・ ・	5

# 平成29年第7回産業建設常任委員会 産業振興課所管事務調査報告書

平成29年7月12日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 渡邊勝弘

## 【調査内容】 産業振興課所管事務調査

### (1) 林道整備事業について

- ① 林道小畑線から北口線視察
- ② 概要説明

林道小畑線より、林道を視察した。総延長＝5,820mであり、林道舗装事業としては、平成23年度～平成26年度まで事業が継続しておったが、平成27年度以降の林道舗装事業については、復旧復興事業優先とするため事業を休止している。

また、国見町・桑折町有北山組合として、白石市小原地区が所有する萬歳楽山の休憩所を視察した。初夏の草花や秋の紅葉もすばらしく、標高915mで見晴台からは360度のパノラマが楽しめ、晴れた日には太平洋をも望むことができることである。

北口線においては、昨年8月22日～23日の台風9号における、土砂くずれの災害復興箇所を視察して説明を聞いた。

## 【感想】

視察後、庁舎において概要説明後に、質疑応答に入り様々な意見が出された。まず、今回3路線を視察してきたが、本町におけるその他の路線の状況はどのようなになっているのか、特に、水晶森林道整備が途中で計画が中止になっているののではないかの意見があり。その点については、事業計画がどのようなになっているのか、後日資料を提出してもらおうこととした。林道除草に関しても、きれいにされており計画的に行っていることがうかがわれる。今後も持続して維持管理をしていただきたい。

また、林道整備事業を休止している林道舗装事業をいつ再開するのか、併せて今回視察出来なかった残り路線についても最大限の予算を活用して、今後も整備に努めていただきたいと思います。

以上

平成29年第7回産業建設常任委員会  
産業振興課所管事務調査報告書

平成29年7月21日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 阿部泰藏

【調査内容】 産業振興課所管事務調査

(1) 林道整備事業について

- ① 林道小畑線から北口線視察
- ② 概要説明

林道の舗装整備状況

北口線 総延長L = 4,594 m (平成22年全線舗装)

南半田赤坂線 総延長L = 3,599 m (平成3年全線舗装)

小畑線 総延長L = 5,820 m (平成26年舗装率19% L = 1,112 m)

※平成27年度以降の林道舗装事業については、復旧復興事業を優先とするため中止となった。

【感想】

林道は、森林の適正な維持・管理に重要な役割を果たしている。そのため、今後も林道整備を図って行くことが大切だと思う。

以上

平成29年第7回産業建設常任委員会  
産業振興課所管事務調査報告書

平成29年7月18日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 井砂善榮

【調査内容】 産業振興課所管事務調査

(1) 林道整備事業について

- ① 林道小畑線から北口線視察
- ② 概要説明

1. 林道小畑線

- 総延長  $L = 5,820\text{m}$   $W = 4.00(3.00)\text{m}$
- 林道舗装事業(補助率50%)
  - ・全体計画： $L = 5,820\text{m}$  ( $W = 4.0\text{m}$ )  $C = 174,600$ 千円
  - ・平成23年度～26年度(主要地方道白石国見線側から実施)  
 $L = 1,112\text{m}$  ( $W = 4.0\text{m}$ )  $C = 34,740$ 千円
- \*平成27年度以降の林道舗装事業については復旧・復興事業を優先とするため事業を休止する。(平成32年度以降に再整備する)

2. 林道北口線

- 総延長  $L = 4,594.2\text{m}$  (全線舗装)  $W = 4.00\text{m}$
- 整備期間：平成10年度～平成22年度(完了)

3. 林道南半田赤坂線

- 総延長  $L = 3,599.0\text{m}$  (全線舗装)  $W = 5.00\text{m}$
- 整備期間：昭和54年度～平成3年度(完了)
- \*昨年夏の大雨により路肩の一部損傷が発生し修復中(通行に支障なし)

【感想】

- 実態を調査し、安全面での管理はなされていると感じた。
- 国見町全体の林道をみると未だ整備が行き届いていない地域(大枝など)があると思われ、均衡のとれた改良事業を求めたい。

以上

# 平成29年第7回産業建設常任委員会 産業振興課所管事務調査報告書

平成29年7月21日

国見町議会議長 東海林一樹様

国見町議会議員 村上 一

## 【調査内容】 産業振興課所管事務調査

### (1) 林道整備事業について

- ① 林道小畑線から北口線視察
- ② 概要説明

林道小畑線（5,820m）は途中まで舗装されているが、和牛放牧組合の放牧地あたりは舗装されていない。放牧は震災後行われていないが林道は整備されている。平成27年度以降の林道舗装事業については、復旧復興事業が優先となるため休止しているが、管理事業は町で対応している。

小畑線と北口線の間地点には萬歳楽山の登山口があり、休憩所・トイレが設置されている。

林道北口線（4,594m）は全線舗装されており、途中台風による被害の場所は復旧事業が実施されていた。

## 【感想】

山が荒れると自然バランスを崩すことがあるため、今後、森林に対しての見直しが必要と思う。小畑線と北口線には萬歳乐山もあり観光コースにもなっている。また、放牧地を復活させるためにも林道整備事業が必要不可欠だと考えられる。

以上